

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 桜アドバイザー活用推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林活用推進課 電話番号：058-272-1111(内4349)
森林吸収源対策室 緑化推進係

E-mail：c11513@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,420 千円 (前年度予算額： 1,420 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,420	700	0	0	0	0	0	0	720
要求額	1,420	700	0	0	0	0	0	0	720
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

本県には、天然記念物に指定された名桜樹が多く生育しており、これらの貴重な樹木の保護・保存に対する意識啓発を図るため、岐阜県桜アドバイザーを活用して県民等を対象とした勉強会の開催や、林木育種場における名桜樹の苗木の育成について技術指導を行う。

(2) 事業内容

①勉強会の開催

県民等を対象とした勉強会の開催

②林木育種場及び採種園における苗木育成指導

名桜樹の手入れ、施肥、病害虫等の苗木育成や管理に関する指導

③貴重な樹木の診断、治療のうち、グリーンドクターでは対応困難な高度な相談に対する指導

(3) 県負担・補助率の考え方

民間で同等の資格を創設することは困難なため、県主体で実施、県負担とする。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	1,100	勉強会、技術指導講師謝金
旅費	287	講師費用弁償
役務費	4	電話代、送料
使用料	29	会議室使用料
合計	1,420	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画

1 森林づくりの推進

(1) 災害に強い循環型の森林づくり

(ウ) 森林経営管理法に基づく市町村による森林管理の支援

(d) 森林づくりの多様な担い手の育成と支援

(2) 国・他県の状況

県で委嘱した桜アドバイザーの活用は他県にはない。

(3) 後年度の財政負担

今後も引き続き認定していくため、同額程度の財政負担が必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

県が委嘱した桜アドバイザーを、貴重な樹木の保護・保存に対する普及啓発に活用するのは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内の名桜樹の保護・保存に対する意識の高揚を図る。
 林木育種場における名桜樹の苗木を主な対象に、育成・管理に関する技術指導等の相談、現地診断、指導を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

県で委嘱した専門家の活用に必要な経費であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 3 年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	本県には、天然記念物に指定された名桜樹が多く生育しており、これらを次世代に継承していくため、保護・保存に対する意識啓発が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 貴重樹木の保護・保存に対する意識啓発を図るため、専門家による勉強会や苗木の育成指導を行う。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	